

What is our responsibility to them?
What will you choose to do with them?
How will you Honor them?

オンライン学習会
要申込・参加無料

ミャンマーの平和を願う 祈りと学びの集い

日 時：6月26日（土）19：30～22：00

未だ多くの暴力に直面し、深い悲しみと苦しみの中にいるミャンマーの人々。真の安らぎと平和の光はいつになったら彼らを照らすのでしょうか。この状況を憂いて様々な立場の人々が、平和への取り組みを行っております。

この度、開催する学習会では、これまで犠牲になられたすべての人々への追悼と鎮魂、そして即時の暴力の停止と早期の平和実現への祈りをもとに、このミャンマー情勢への理解と現在行われている市民、宗教者の取り組みについて学ばせて頂きたいと思っております。



第一部：【ミャンマーの平和を願う祈り】



第二部：【学習会】

～ミャンマー情勢への理解を深めるために～

登壇者紹介(敬称略)



松井ケティ (WCRP日本委員会平和研究所所員・清泉女子大学教授)

包括的平和学習、協調的コミュニケーション法などが専門。国内外の平和教育・平和構築の活動を積極的に行っている。



根本敬 (上智大学 総合グローバル学部 教授) 1985-87年に日本の文部省奨学金でミャンマー (ビルマ) に留学。大学生の時にミャンマーを再訪した時の経験からミャンマーの近現代史に興味を持ち、1910-40年代を中心としたビルマ・ナショナリズムの思想や行動及び対英・対日関係を主な研究テーマとしている。



逢沢一郎 (衆議院議員・WCRP国際活動支援議員懇談会幹事長) 「人間の安全保障促進のための宗教協力計画」への参加や、「中東宗教者ハイレベルコンサルテーション」開催のためのご尽力など、WCRP国際活動のに貢献をされている。自由民主党に所属。



杉野恭一 (WCRP国際委員会副事務総長) 国連難民高等弁務官事務所ジュネーブ本部政策研究官、WCRP国際事務次長を経て、2011年11月18日第3代副事務総長に任命される。世界90カ国の加盟団体とともに、諸宗教協力を通じた紛争和解、平和構築活動を展開している。米国ウィスコンシン州立大学法科大学院修士課程卒、ニューヨーク在住。



根本信博 (アジア宗教者平和会議 事務総長) 1978年、立正佼成会に入職。1982年に国際自由宗教連盟フランクフルト事務局に勤務し、1986年から1989年までジュネーブの国連難民高等弁務官事務所本部に勤務。立正佼成会土浦教会長、神戸教会長、外務部長を歴任。東京大学大学院総合文化研究科「人間の安全保障」プログラム博士課程を修了。

プログラム

第一部 【ミャンマーの平和を願う祈り】

19:30 各宗教代表者による祈り

第二部 【学習会】

20:00 開会挨拶

20:05 「ミャンマー情勢への理解を深めるために」

☒ コーディネーター：松井ケティ

(WCRP日本委員会平和研究所所員・清泉女子大学教授)

☒ 発題者：在日本ミャンマー人

根本敬 (上智大学総合グローバル学部教授)

杉野恭一 (WCRP国際委員会副事務総長)

逢沢一郎 (衆議院議員・WCRP国際活動支援議員懇談会幹事長)

根本信博 (アジア宗教者平和会議 事務総長)

21:05 フロアからの質疑とディスカッション

21:55 閉会挨拶

22:00 終了

申込方法

☒ 以下のURLより、参加申し込みをお願いいたします。

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_7IqXynpQQGOqommFcs-UJA

※右記QRコードからもお申込みできます。



お問合せ

☒ WCRP日本委員会 (<https://www.wcrp.or.jp/> / rfpj-info@wcrp.or.jp)